動物園の役割
＝手引き＝

このプログラムでは、動物園がどんな施設なのか、動物園職員がどのような理念を持っているのか等を学び考えるものになっています。

学習手順

＜まず初めに＞

ワークシートは児童・生徒の知識の変化、気づきや理解等を主に児童・生徒自身が認識するものであるため、学習前の知識で事前ワークシートを記入してもらい、「動物園の役割」を受講後に改めて動物園を運営する際の理念や動物を飼育する目的などを振り返り理想や目標となる動物園を考え、ワークシートに記入してもらいます。事前と事後を比較することでイメージの違いなどを認識することができるようになります。

＜目的＞

①正しい知識を獲得し、自分の知識を更新する。
②自分の考えを他人と共有することで、自分と他人の感覚の違いを認識し他人の意見を受け入れ、自分の意見と併せて新しい意見を得る。
③自分でもっと詳しく調べたいことを探し出し、次の学びへつなげる。

＜事前ワークシート＞所要時間約 10 分（学校で行う際の所要時間はお任せします。）

ねらい：学習前の児童・生徒の知識を確認する。
ポイント：現段階での知識で動物園についての考えや意見を知るため、調べ学習は不要です。事前と事後の変化をより感じるため、事前ワークシート記入後に調べ学習を行うことをおすすめします。

①事前ワークシートでみんなが考える動物園の「どんな施設なのか」や「どんな動物がいるのか」などを考え絵や言葉で書いてもらい、児童・生徒が動物園にどんなイメージを持っているのかを確かめてください。
②動物園が行っていることは何なのかを考え、書いてもらいます。
③動物園で飼育している動物がどこから来ているのかを考え、書いてもらいます。
④動物園で飼育している動物は幸せなのかを考え、少しでも幸せでないと考えた場合に動物が動物園で幸せな暮らしを送るために必要なことや物を考え、絵や言葉で書いてもらいます。
※事前ワークシートは、正しいかどうかよりも、イメージを持てているかどうかが大切です。

＜円山動物園での講義＞所要時間約 30 分

ねらい：動物園の今と昔の違いや動物園が取り組んでいること（役割）について学びます。
ポイント：談話型で進行します。講義を聞きながら知りたいことや気になる事を見つけましょう。

①事前ワークシートで記入した内容を発表してもらいながら、動物園の役割について学んでいただきます。

＜ふりかえりワークシート＞所要時間約 15 分（学校で振り返る際の所要時間はお任せします。）

ねらい：学んだことから自分の知識がどのように変化したのか、気づいた事や分かった事を確認する。
新しい疑問を考え見つけることで次につながる学びの準備をする。
ポイント：事前と事後で自分の考えを比較しますが、大事なことは自分の意見を考えて書く、そして発表できることです。

①講義内容を踏まえ自分が考える理想または目標とするべき動物園をデザインしてもらいます。
＜デザインするときのポイント＞
・動物園はどれくらいの広さが必要なのか、動物について学んでもらうための工夫や事前ワークシートで選んだ動物の飼育環境についてどうやったら幸せな暮らしを与えることができるのかなどを考えましょう。
※見た目だけではなく、どんな目的で施設をデザインするのか。また、飼育方法などについて考えながら行ってください。

②動物園の役割について学んだことを活かし、デザインした動物園ではどんなことを取り組んで行くかを計画し、各役割について書いてもらいます。どんな動物を守るのか、守るためにはどんな調査が必要なのかなどを書いてもらいます。
例）動物：シマフクロウ
種の保存：生息地の保全のための募金を集める。動物園で繁殖を成功させ、野生に帰す。等
調査・研究：生態、飼育方法や繁殖するために必要な環境等を調べる研究する。等
環境教育：飼育員と話せるイベントを企画する。みんなに分かりやすい教材を作る。等
レクリエーション：森のような環境で動物を眺めながらご飯を食べられるスペースを設置する。等
③「講義の内容をもっと深く知りたい」や「動物園の歴史」等の何か知りたいことがあれば書いてもらいます。これから新しい学びへの繋がりを作ります。

振り返りでは事前と事後で何が変わったのかを確かめてください。動物園について正しいイメージを持つことができ、動物園の役割や動物を飼育することの難しさ等を確認することができるでしょう。また、動物園を訪れた際に新しい発見があるでしょう。

＜最後に＞
自分たちがデザインした動物園をグループで共有し、みんなの考えを組み合わせたそのグループだけの素晴らしい動物園を考え、デザインし発表しましょう。

※事前ワークシートと振り返りワークシートの返送のご協力をお願いしています。返送は庁内メールや FAX、メール等が可能です。お送りいただきましたワークシートは円山動物園が実施する今後の環境教育事業の質の向上のため、内容を確認し、プログラム内容の改善に使用いたします。

札幌市円山動物園　飼育展示課　飼育総括係
住所：札幌市中央区宮ヶ丘 3 番地 1
FAX：011-621-1428
E メール：maruyamazoo-soukatsu@city.sapporo.jp